保護者の皆様

令和８年１０月１６日
福津市立福間南小学校
コミュニティ・スクール福間南
校　長　村本　朗子

令和8年度 全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査の結果について

１　全国学力・学習状況調査の目的

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
○このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

２　全国学力・学習状況調査内容・実施時期

調査対象学年	第６学年	実施時期	令和８年４月２３日（木）
調査内容	○教科に関する調査：【国語】【算数】 ○生活習慣や学校環境に関する質問紙調査　→児童に対する調査、学校に対する調査		

３　全国学力・学習状況調査（6年生）の結果

（1）各教科区分の平均正答率

本校の平均正答率を全国と比較すると、国語、算数ともにも全国平均正答率を上回っています。

通年、国語及び算数においては、全国・福岡県の平均を超える正答率を維持しており、特に算数は高い傾向にあります。学力の安定が見られます。今後は、さらに個に応じた学習を充実させていきます。

（2）児童質問紙の結果

学習面

本校の「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という項目において、肯定的に回答している児童の割合は、全国・福岡県と比べると、やや上回っています。また、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」「授業以外に平日、どれくらいの時間、勉強をしますか」という項目において、肯定的に回答している児童の割合は、全国・福岡県と比べるとほぼ同等です。「授業以外に平日、どれくらいの時間、勉強をしますか」という質問項目について、「１時間以上」と回答している児童の割合も全国・福岡県と比べるとほぼ同等です。

今後は、タブレットや学習プリントを活用した家庭学習のさらなる充実や、課題設定を大事にして年間を通したふるさと学習の深化を図りたいと思います。

生活面

「将来の夢や目標を持っていますか」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」といういずれの項目について、全国・福岡県と比べると、やや上回っています。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」、「自分には、よいところがあると思いますか」といういずれの項目について、全国・福岡県と比べると、ほぼ同等です。

今後は、児童の学ぶ意欲や自尊感情を高めるために福岡県教育委員会の実施している「鍛ほめ福岡メソッド」を全職員で再確認したり、また、キャリア形成に向けて、どの学年においても「なりたい自分」「あこがれの職業」などに関して日頃から意識させたりしていきたいと考えています。

4　福岡県学力調査の目的

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、県内各地域における児童の学力の状況をきめ細かく把握・分析し教育及び教育施策の成果と課題を検証して改善を図る。
○各市町村教育委員会、学校が自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し改善を図るとともにその取組を通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルの維持向上を図る。
○各学校が児童の学力の状況を把握し、児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

5　調査内容・実施時期

調査対象学年及び調査内容	第５学年　　国語・算数（CBT）
実施時期	令和８年５月１８日（月）

6　福岡県学力調査（5年生）の結果（標準化得点との比較）

本校の平均を県平均と比較すると、国語、算数ともに福岡県平均を上回っています。昨年度と同様に、県を超える平均を維持し、特に国語は高い傾向にあります。今後もつまずきのある単元や領域を分析して全学年の授業改善を行い、さらに学力の定着を図っていきます。

7　課題克服に向けての学力向上の方策

(1)学力面に関して

□考えをつくる・書く・話し合う活動の日常化を図ります。どの教科においても日々の学習指導において、根拠を基に自分の考えをノートにしっかり書いたり、友達の考えと比べて説明したり、友達と話し合ったりする場面を仕組んでいきます。また、授業の最後に振り返る時間を設定し、自他の学びを認め合うとともに、分かったことを自分の言葉でまとめる場面を仕組み、「書く力」や「考えを整理する力」を鍛えていきます。
□国語については通年で、全学年で学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読み書きできるように、定期的に実態把握をし、個への指導と支援を行い、確かな言語力の育成に取り組みます。
□算数については、自分の考えを式や言葉で表現したり説明したりする場を授業に位置づけて、「考える力」や「表現力」を伸ばします。さらに、正答率の低かった領域の過去問題に取り組んだり、本年度の該当学年での指導を工夫したりしながら、解き方や考え方の解説を行って習熟を図ります。
□どの学年においても、タブレットドリルを活用し、基礎的・基本的な学力の定着を図ります。また、これまで行ってきた「学習規律」「学習用具」の取組についても、全校で徹底していきます。

(2)生活面に関して

□子供たちのよさやがんばりを承認・称賛し、自己肯定感や自己有用感をさらに高めます。
□特別活動や道徳科の学習を通して、よりよい人間関係づくりの基盤を培い規範意識を高めます。

(3)家庭学習に関して

□定着を図る「復習」に加えて、全校で発達段階に応じた自主学習や予習を宿題に出すなどのを行い、振り返ったり見通しをもったりする学習の習慣をつけます。
□保護者の皆様には、家庭学習についての関心を高めてもらうために、日々の家庭学習への声かけと家庭学習頑張り週間へのご協力をお願いします。

(4)職員に関して

□校内で学び合いを重視した指導法やICTを活用した指導法について、研修を深めます。
□学力向上や生徒指導に関する研修をし、全職員でその研修を生かした取組を実践します。
□調査結果の分析から児童のよさと課題について共通理解を図り、交換授業や一部教科担任制、少人数指導を実施する等、学級間格差をなくす取組を進め、学力を向上させるという職員の意識を高めます。

学力調査の結果は全ての学力を示すものではなく、学力の特定の一部です。この結果を活かし、本校の重点目標である「自ら考え行動し、深い学びと豊かな人間関係を実感する子供の育成」の達成に向けて取り組んでまいります。